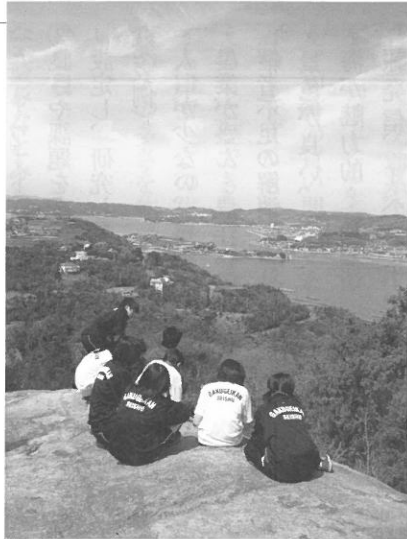


はじめに

瀬戸内市は、岡山県東南部に位置し、南は小豆島との間に多島美が広がる瀬戸内海国立公園、北と西は県庁所在地のある岡山市、東は陶芸の里・備前市に接している。

この瀬戸内市は、旧邑久郡三町が合併して、平成一六(2004)年に誕生した。数々の名刀を生み出した刀剣の聖地「長船町」、大正ロマンの美人画伯・竹久夢二を産んだ「邑久町」、風待ち潮待ちの港であり江戸時代に朝鮮通信使の寄航地であった「牛窓町」の三町である。

「晴れの国おかやま」の名のとおり、地中海のような温暖な気候や風景から、牛窓は「日本のエーゲ海」とも呼ばれている。丘陵地にある段々畑のオリーブやカボチャ、キャベツ等ここで育つ農産物は一味違う。



牛窓の風景と残石ウォークラリーに参加した生徒たち

地域だより

瀬戸内の島にふれる教育旅行

瀬戸内市教育旅行誘致推進会

コーディネーター 馬場 静子

魚や牡蠣、海苔等の海産物も独特のうま味を蓄えている。

オリーブ園から見渡せる500ヘクタールの塩田跡に太陽光パネルを設置した「瀬戸内Kiriee太陽光発電所」は、アジア最大級の規模であり、持続可能エネルギーによる環境保全と地方再生をテーマにした学びの場でもある。

牛窓沖に浮かぶ五色の牛窓諸島、前島(緑島)・黒島・黄島・青島・鼠島周辺は、瀬戸内海でもひと際穏やかで海辺の活動には最適である。

島がキャンパス

「前島」は、牛窓港からフェリーで5分。周囲約10キロメートルのピーナツ型の小島で、豊かな自然や化石、史跡がある。とくに東山の太坂城



今なお残る残石群

築城残石群は、切り出し当時の矢穴・刻印などの加工工程や岩下し(切り出した岩を山から引き下ろす道)、水中残石が大規模に約400年前の姿で残っている。

昭和六一(1

986)年、島の東端に子どもたちのために「牛窓研修センター・カリヨンハウス」が設立された。修学旅行や体験学習で訪れる子どもたちは、ここで島の豊かな自然の恵みを様々な形で体験していく。



アマモの森で出会ったアオリイカの卵



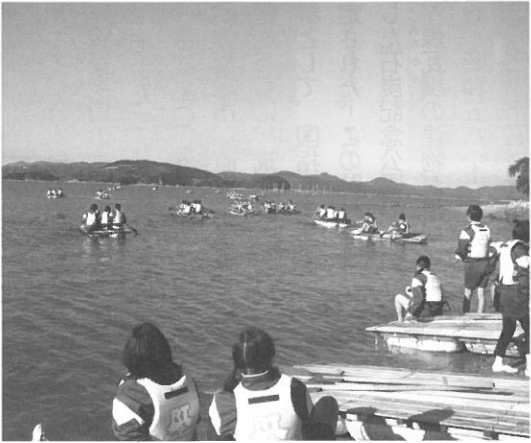
アマモの森

地元漁協の協力で行う「地引網体験」は、力を合わせて魚を得るとともに、捕れた魚を自分たちでさばき、命をいただく体験でもある。

海の冒険「いかだ作りといかだトリップ」は、チームワークを育むカリヨンハウスの象徴的なプログラムである。うまく操るにはバランスや潮の流れ、風の向きを考え、仲間との協調性やコミュニケーションを必要とする。海面近く、魚の群れやスナメリとの出会いも魅力の一つ。乗り終えたときは達成感に満ちた様子が見え、仲間と漕ぎ出す体験は、学校団体や企業、一般団体にも広く受け入れられている。

島の豊かな土壌が育む有機野菜に触れ、それらを使ったアウトドアクッキングは、野菜本来の甘みが最高の調味料になる。

夜は口径650ミリの反射望遠鏡が設置されたティエラ天文館で、星たちの素顔を見ることが出来る。また、夏期は優しいさざ波をバックに、神秘的な光を放つ「海ホテル」にも出会える。日本六古窯の一つである備前焼のルーツは、瀬戸内市にある。その縁で備前焼陶



チームワークを紡ぐ!いかだ乗り体験



体験も実施しており、雨天時の対応プログラムとしても人気がある。大地にささやく声を聞く化石や地質探検・自然の恵みで作るクラフト他、目的別に約35種類の自然体験を用意している。

人権学習

瀬戸内市虫明地区にある「長島」には、国内初となる国立療養所「長島愛生園」と「邑久光明園」がある。昭和五(1930)年、ハンセン病療養所として開設された。ハンセン病隔離政策による歴史を直に感じ、人権について考える場である。現在、世界遺産に登録すべく医療や教育団体の研修受け入れに注力している。

瀬戸内市教育旅行誘致推進会

恵まれた自然環境の中で子どもたちがどのような気づきを得られるか。地域資源を活かして、それぞれの目的にあった研修や学習を提供しようと、平成一八(2006)年「瀬戸内市教育旅行誘致推進会」が発足した。

前島への渡航は定期フェリー他、チャーターフェリーや送迎船・渡船など、団体の人数や予算にあわせて対応している。大人数での漁業体験(地引網や底引網など)は漁業協同組合、農作業体験は島の農家など、地域で連携して取組んでいる。



一致団結!地引網体験

【問い合わせ先】

瀬戸内市教育旅行誘致推進会

コーディネーター

牛窓研修センター・カリヨンハウス

〒701-4302

岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓6356-57

TEL 0869-3415808

FAX 0869-3415810

Eメール info@carillon-house.com